

3 ずっと働ける元気な産業のまち



特産の島原手延べそうめん

◆地域経済を支える地域企業の振興

継続 市内の新商品の開発に意欲的な地場企業に対して、地域物産開発販売支援のための経費を補助します。

拡充 地域経済対策として、市独自の利子補給制度を引き続き実施します。県の地域産業対策資金を利用する中小企業者に対して、保証料を含む利子支払額の3分の1以内を助成するほか、日本政策金融公庫資金を借り入れている商工業者に対し、20年度と21年度に限り、利子支払額の50パー

セント、上限額を10万円まで引き上げて助成しています。今後も需要の状況を見ながら、必要な金融対策を行います

◆企業立地と雇用の創出

継続 東京に配置している駐在員と連携を密にして、企業立地対策に努めます。

継続 すでに設置した「南島原市緊急経済雇用対策本部」で、経済・雇用状況など、総合的な対策を取りまとめ、迅速に対応します。

継続 国が2次補正予算に盛り込んでいる雇用創出のための「ふるさと雇用再生特別交付金事業」および「緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業」を、全庁あげて積極的に取り組みます。(3年限定)

新規 「菌床しいたけ」の生産施設を建設(22年4月1日操業開始)しています。この施設には、国、県の補助のほかに、市は「ふるさと融資資金」(無利子)を直接貸し付けて支援します。

◆農林業の振興

継続 農業の担い手の確保・育成対策などの各種施策に取り組み、さらに、国や県の各種補助事業を最大限に活用し、生産施設や設備の近代化を図り、効率的な農業経営体を育成します。

継続 現在の7地区に加え、さらに農地の基盤整備を推進し、耕作放棄地の解消、一層の農業の振興を図ります。

新規 新たに市が直営(単独事業)で用水路を整備する「南島原市農業用水路整備事業」を創設します。

拡充 農業後継者の結婚対策について、「農業後継者結婚対策協議会」とともに、さらに支援を強化します。



南向きの斜面が多い南島原は、かんきつ類の宝庫

◆水産業の振興



有明海は海産物の宝庫

◆建設工事最低制限価格の引き上げの試行

継続 有明海栽培漁業推進協議会と連携して、ヒラメやカサゴ、トラフグなどの種苗放流をはじめ、水産資源増殖保護、ガザミ産卵支援などを実施、漁業経営の安定を目指します。

継続 21年度は、深江漁港において物揚場、浮桟橋などを整備します。

新規 布津漁港は、避難港として湯田港の整備を計画し、22年度着手を目指します。

継続 布津漁港海岸は、護岸改良を行い、21年度完成を目指します。

継続 有明海の海底耕運(県営事業)を実施し、漁場の生産能力の早期回復に取り組みます。

◆道路交通網の整備等

継続 34路線(新規12、継続22)の道路整備と30カ所程度の維持補修を計画しています。



市道陣場線(南有馬町)21年4月下旬開通予定

◆住民サービス向上のための総合窓口の実現

拡充 建設工事の最低制限価格を5パーセント程度引き上げます。(21年4月1日から当分の間。上限90パーセント程度)

「人づくり」「協働」のあり方

本市の将来像を実現するために、市民と行政が手をとり合ってさまざまな課題に挑戦していくとともに、各分野の取り組みに積極的に参加、活動していくことが不可欠です。

◆協働のまちづくり推進指針

拡充 南島原市協働のまちづくり推進指針に沿って協働の取り組みを展開していくとともに、さらには、活動分野を細分化して具体的な行動内容を示す「アク



皆さんの「声」を聴くことを大事に考えています。

シヨンプラン」の策定にも着手します。

◆ふるさと応援寄附

継続 ふるさと応援寄附については、県下でいち早く取り組み、ふるさとを思う74人の方々からの寄附金が、6,091,000円。(平成21年2月末日現在)これに加え、北村西望先生作のすばらしい作品もいただいております。県下ではトップクラスの実績を誇っています。ご協力いただいた市民皆様のおかげと感謝しています。



「天女の像」現在原城温泉 真砂に展示中です。

◆学校教育の充実

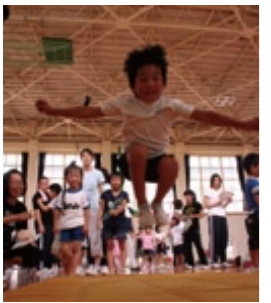
継続 引き続き、教師の教育力を高める学校教育活性化事業(あこうプラン)、学校現場で研究を進める「市指定研究制度」に取り組みます。

拡充 交友関係や学習面で悩みや不安を抱える子どもへの支援を目的に、引き続き、子ども支援員8人、心の教室相談員8人を配置し、特別支援教育助手については、4人から8人に増員します。

◆スポーツの振興

継続 本市の競技スポーツの中枢を担う体育協会を支援し、競技力の向上と普及を図ります。

新規 手軽にスポーツを楽しむことができる社会を実現するため、市民が自ら運営管理する総合型地域スポーツクラブを支援します。



子どもたちの元気が市の活力です。

◆広報広聴の充実

新規 市民との懇談会は、引き続ききめ細やかに実施するとともに、21年度は、新たに「市民提案箱」を各支所に設置します。

継続 高校生が市を広くPRする「南島原市ふるさとPR大使」を引き続き取り組みます。

そのほかの主な懸案事項

◆公営施設の民営化

継続 市立乳ガ浦老人ホームが、4月から社会福祉法人恵光会 養護老人ホーム「大乗苑」としてスタートしました。保育所、幼稚園の民営化に向けて、これまでどおり積極的に取り組みます。

◆島原鉄道南線跡地の活用検討

継続 島原鉄道南線跡地の活用については、調査、研究

◆政策評価および予算の制

度改革への取り組み
市民の皆さまとともに協働のまちづくりを進める上で、行政の説明責任を果たさなければなりません。
新規 20年度から導入を始めた政策評価制度も、21年度からはすべての事務事業にこれを広げて実施します。